

3. 木材価格

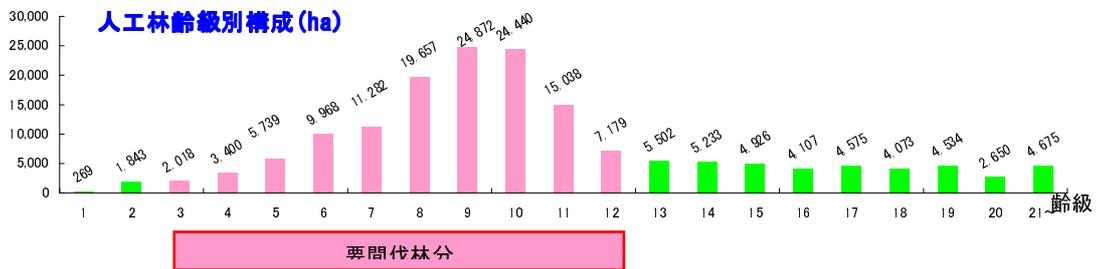
木材価格は、スギの昭和55年、ヒノキの平成2年をピークに、以降は総じて下降傾向が続き低迷している。



*中丸太 径14~22cm 長さ3.65~4mのm3当たり

4. 人工林（針葉樹）の林齢構成

戦後造林された林分が多く、除間伐等の保育を必要としている。特に3齢級~12齢級の要間伐林分は約74%を占めている。



5. 林業生産活動

木材価格の低下により生産コストに見合う収益が見込めないことから、素材生産・造林・保育などの林業生産活動が減退している。



6. 木材産業

吉野町、桜井市を中心に製材工場等の二大木材団地を形成し、国産材を中心に優良材を供給している。木材産業は地域経済で重要な位置を占めているが近年入荷量が減少している。

